

参・福島みずほ議員からのご質問に対する回答

1 2010年度から2020年度までの各年度における自衛隊員の殉職者について、以下の内容を明らかにしていただきたい。

(1) この期間の各年度の殉職者数、及び各年度の殉職者についての陸上自衛隊・海上自衛隊・航空自衛隊・その他事務官等の別、年齢別、所属部隊別、原因・理由別に分類した人数。

○ 別紙第1のとおり。

なお、自殺による殉職者については、2項で回答いたします。

※ 殉職者とは、公務上の災害として認定された殉職隊員をいいます。

(2) この期間における殉職者の各件についての、陸上自衛隊・海上自衛隊・航空自衛隊・その他事務官等の別、年齢、階級、所属部隊、発生地域、原因・理由に関する説明。

○ 別紙第2のとおり。

(3) この期間の殉職者に関する、公務災害の認定状況。

○ 別紙第1及び別紙第2のとおり。

2 2010年度から2020年度までの各年度における、自衛隊員の自殺者について、以下の内容を明らかにしていただきたい。

- (1) この期間の各年度の自殺者数、及び各年度の自殺者についての陸上自衛隊・海上自衛隊・航空自衛隊・その他事務官等の別、年齢別、所属部隊別、原因・理由別に分類した人数。
- (2) この期間における自殺者の各件についての、陸上自衛隊・海上自衛隊・航空自衛隊・その他事務官等の別、年齢、階級、所属部隊、発生地域、原因・理由に関する説明。

- 自衛隊員の自殺者数は、平成16(2004)年度から18(2006)年度は100人以上であったが、平成19(2007)年度以降は、緩やかな減少傾向となっています。
- しかしながら、依然として、60人程の貴重な隊員の命が自殺により失われている状況にあります。
- 防衛省においては、平成12年(2000年)以降、メンタルヘルス施策を長年進めていました。
- また、令和元(2019)年度から「自殺事故の状況把握調査」を開始しています。
- 令和元(2019)年度の自殺事故の状況について、調査したところ、10代・20代の若い隊員及び50代の中高年の隊員の自殺が人員比より多いことや、勤務環境・生活環境に変化のあった隊員の自殺事故が多いことが確認されました。

陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、その他事務官等の別：別紙第3-1のとおり

年代別、階級別：別紙第3-1のとおり。

令和元年度自殺事故の調査結果(原因・理由別)：別紙第3-3のとおり

※ 所属部隊別、発生地域別については、公にすることにより、個人が特定される可能性があるとともに、自殺した隊員のプライバシー保護や職場の関係者などの心理的負担の観点から不開示としています。

(3) この期間の自殺者に関する、公務災害の認定状況。

○ 別紙第3-1のとおり。

## ◆殉職者の状況(機関別)

(R2.12.31現在)

## ○陸上自衛隊

年度		災害発生年度											
区分		平成22年度 (2010)	平成23年度 (2011)	平成24年度 (2012)	平成25年度 (2013)	平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	平成31年度 (令和元年度) (2019)	令和2年度 (2020)	合計
発生件数		4	5	1	8	2	1	6	11	3	6		47
年齢別	10代～20代		1		3	1		3	3		1		12
	30代	1			1				3	1	1		7
	40代	3	2		2		1	2	4	2	2		18
	50代～		2	1	2	1		1	1		2		10
階級別	幹部			1	2		1	1	4	1			10
	准・曹・士	4	5		5	2		4	6	2	5		33
	事務官等				1			1	1		1		4
原因・理由別	事故		1		2				9	2	2		16
	特定 疾病	1	3	1	2		1	1		1	2		12
	石綿		1		1								2
	その他	3			3	2		5	2		2		17

※1 原因・理由別の「事故」欄は、車両事故、航空機事故、艦船事故及び訓練演習時の事故をいう(以下同じ)。

※2 原因・理由別の「その他」欄は、事故及び特定疾病以外の傷病をいう(以下同じ)。

## ○海上自衛隊

年度		災害発生年度											
区分		平成22年度 (2010)	平成23年度 (2011)	平成24年度 (2012)	平成25年度 (2013)	平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	平成31年度 (令和元年度) (2019)	令和2年度 (2020)	合計
発生件数		7	3	6	3	13	5	8	8	2	7	1	63
年齢別	10代～20代	1		1		2		3	1				8
	30代			2		2			2				6
	40代					2			1	1	1		5
	50代～	6	3	3	3	7	5	5	4	1	6	1	44
階級別	幹部	5	2	4	2	7	2		4	1	2		29
	准・曹・士	2	1	2	1	6	2	8	4	1	5	1	33
	事務官等						1						1
原因・理由別	事故			1		6		1	3		1		12
	特定 疾病	1				1		1	1	1			5
	石綿	5	3	3	3	5	5	4	4	1	5	1	39
	その他	1		2		1		2			1		7

## ○航空自衛隊

年度		災害発生年度											
区分		平成22年度 (2010)	平成23年度 (2011)	平成24年度 (2012)	平成25年度 (2013)	平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	平成31年度 (令和元年度) (2019)	令和2年度 (2020)	合計
発生件数		1	1		1	1		6	5	2	1		18
年齢別	10代～20代	1						1		1			3
	30代		1					2	1				4
	40代							2	3	1	1		7
	50代～				1	1		1	1				4
階級別	幹部		1					3	3		1		8
	准・曹・士	1						3	2	2			8
	事務官等				1	1							2
原因・理由別	事故		1					6	4	1	1		13
	特定 疾病								1	1			2
	心・脳疾患												
	石綿					1							1
	その他	1			1								2

## ○その他事務官等

年度		災害発生年度											
区分		平成22年度 (2010)	平成23年度 (2011)	平成24年度 (2012)	平成25年度 (2013)	平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	平成31年度 (令和元年度) (2019)	令和2年度 (2020)	合計
発生件数								1	1		1		3
年齢別	10代～20代								1				1
	30代							1					1
	40代												0
	50代～										1		1
階級別	事務官等							1			1		2
	学生								1				1
原因・理由別	事故												0
	特定 疾病							1					1
	心・脳疾患												
	石綿										1		1
	その他								1				1

※「その他事務官等」は、陸・海・空各自衛隊以外の機関に所属している事務官等及び学生をいう。

## ◆殉職者の状況(年度別)

○平成22年度

No.	機 関	年 齢	階級等	所属部隊		発生地域	原因・理由
1	海	66	(元)1等海尉	(元)佐世保教育隊	(長崎県佐世保市)		石綿
2	海	70	(元)3等海尉	(元)舞鶴基地業務隊付	(京都府舞鶴市)		石綿
3	海	23	2等海曹	第2護衛隊ゆうぎり	(青森県むつ市)	艦船内	その他
4	陸	44	2等陸曹	第14普通科連隊	(石川県金沢市)	石川県金沢市	その他
5	海	76	(元)海曹長	(元)横須賀教育隊付	(神奈川県横須賀市)		石綿
6	海	74	(元)3等海佐	(元)大湊基地業務隊	(青森県むつ市)		石綿
7	海	51	1等海佐	護衛艦あけぼの	(広島県呉市)	広島県呉市	脳疾患
8	海	75	(元)3等海佐	(元)第2術科学校	(神奈川県横須賀市)		石綿
9	陸	40	1等陸曹	第2特科連隊	(北海道旭川市)	北海道旭川市	心疾患
10	陸	42	陸曹長	自衛隊宮城地方協力本部	(宮城県仙台市)	宮城県仙台市	その他
11	陸	36	1等陸曹	第22普通科連隊 (現:第22即応機動連隊)	(宮城県多賀城市)	宮城県仙台市	その他
12	空	27	2等空曹	第4航空団	(宮城県東松島市)	宮城県東松島市	その他

## ◆殉職者の状況(年度別)

○平成23年度

No.	機 関	年 齢	階級等	所属部隊		発生地域	原因・理由
1	陸	51	准陸尉	第2特科連隊	(北海道旭川市)	岩手県滝沢村	脳疾患
2	陸	46	陸曹長	第9施設大隊	(青森県八戸市)	岩手県遠野市	脳疾患
3	海	72	(元)1等海尉	(元)横須賀基地業務隊	(神奈川県横須賀市)		石綿
4	陸	27	2等陸曹	第18普通科連隊	(北海道札幌市)	岩手県滝沢村	心疾患
5	空	37	2等空佐	第83航空隊 (現:第9航空団)	(沖縄県那覇市)	航空機内	事故
6	陸	80	(元)准陸尉	(元)第11施設群	(福島県福島市)		石綿
7	陸	41	1等陸曹	第301ダンプ車両中隊	(茨城県古河市)	静岡県御殿場市	事故
8	海	77	(元)2等海尉	(元)舞鶴教育隊	(京都府舞鶴市)		石綿
9	海	76	(元)2等海曹	(元)横須賀造修所 (現:横須賀造修補給所)	(神奈川県横須賀市)		石綿

## ◆殉職者の状況(年度別)

○平成24年度

No.	機 関	年 齢	階級等	所属部隊		発生地域	原因・理由
1	海	77	(元)3等海尉	(元)佐世保補給所付 (現:佐世保造修補給所)	(長崎県佐世保市)		石綿
2	海	37	2等海佐	第25航空隊	(青森県むつ市)	航空機内	事故
3	海	77	(元)1等海尉	(元)第2術科学学校付	(神奈川県横須賀市)		石綿
4	海	21	3等海曹	第2護衛隊ゆうぎり	(青森県むつ市)	オマーン国	その他
5	陸	53	3等陸佐	第3飛行隊	(大阪府八尾市)	岡山県奈義町	心疾患
6	海	75	(元)3等海尉	(元)横須賀基地業務隊	(神奈川県横須賀市)		石綿
7	海	39	1等海曹	大湊基地業務隊補充部付	(青森県むつ市)	艦船内	その他



## ◆殉職者の状況(年度別)

○平成25年度

No.	機 関	年 齢	階級等	所属部隊		発生地域	原因・理由
1	陸	20	陸士長	第1後方支援連隊	(埼玉県大宮市)	埼玉県大宮市	事故
2	海	73	(元)2等海尉	(元)横須賀基地業務隊	(神奈川県横須賀市)		石綿
3	陸	59	防衛技官	北熊本駐屯地業務隊	(熊本県熊本市)	熊本県熊本市	脳疾患
4	空	67	(元)防衛事務官	(元)西部航空警戒管制団	(福岡県春日市)		その他
5	海	76	(元)1等海曹	(元)呉基地業務隊補充部付	(広島県呉市)		石綿
6	陸	37	3等陸佐	第103施設器材隊	(福岡県小郡市)	福岡県小郡市	その他
7	陸	45	陸曹長	第10施設大隊	(愛知県春日井市)	京都府城陽市	その他
8	陸	62	(元)1等陸佐	(元)第11後方支援連隊付 (現:第11後方支援隊)	(北海道札幌市)		石綿
9	海	78	(元)3等海尉	(元)佐世保教育隊	(長崎県佐世保市)		石綿
10	陸	40	陸曹長	第8高射特科大隊	(熊本県熊本市)	大分県玖珠町	事故
11	陸	25	2等陸曹	第17普通科連隊	(山口県山口市)	岡山県真庭市	その他
12	陸	25	1等陸士	第2特科連隊	(北海道旭川市)	北海道旭川市	心疾患

## ◆殉職者の状況(年度別)

○平成26年度

No.	機 関	年 齢	階級等	所属部隊		発生地域	原因・理由
1	陸	29	2等陸曹	防衛大学校訓練部	(神奈川県横須賀市)	岐阜県	その他
2	海	72	(元)2等海尉	(元)通信保全業務隊付 (現:保全監査隊)	(東京都新宿区)		石綿
3	海	47	1等海尉	潜水医学実験隊	(神奈川県横須賀市)	神奈川県横須賀市	事故
4	海	50	准海尉	潜水医学実験隊	(神奈川県横須賀市)	神奈川県横須賀市	事故
5	海	77	(元)2等海尉	(元)第1術科学学校付	(広島県江田島市)		石綿
6	空	85	(元)防衛庁技官	(元)第2航空団	(北海道千歳市)		石綿
7	海	23	3等海曹	護衛艦せんだい	(広島県呉市)	広島県呉市	事故
8	海	79	(元)3等海曹	(元)横須賀補給所 (現:横須賀造修補給所)	(神奈川県横須賀市)		石綿
9	海	51	2等海佐	砕氷艦しらせ	(神奈川県横須賀市)	南極大陸	心疾患
10	海	39	2等海佐	第211教育航空隊	(鹿児島県鹿屋市)	航空機内	事故
11	海	43	2等海佐	第211教育航空隊	(鹿児島県鹿屋市)	航空機内	事故
12	海	23	1等海曹	教育航空集団司令部付(第211教育航空隊)	(鹿児島県鹿屋市)	航空機内	事故
13	海	79	(元)海曹長	(元)自衛隊佐世保病院付	(長崎県佐世保市)		石綿
14	陸	75	(元)2等陸曹	(元)第5戦車大隊	(北海道鹿追町)		その他

No.	機 関	年 齢	階級等	所属部隊	発生地域	原因・理由	
15	海	75	(元)1等海尉	(元)横須賀基地業務隊本部 補充部付	(神奈川県横須賀市)		石綿
16	海	34	2等海曹	硫黄島航空基地隊	(東京都小笠原村)	東京都小笠原 村	その他

## ◆殉職者の状況(年度別)

○平成27年度

No.	機 関	年 齢	階級等	所属部隊		発生地域	原因・理由
1	海	86	(元)防衛庁技官	(元)第1術科学学校	(広島県江田島市)		石綿
2	海	78	(元)海曹長	(元)横須賀基地業務隊付	(神奈川県横須賀市)		石綿
3	海	75	(元)3等海尉	(元)横須賀基地業務隊本部 補充部付	(神奈川県横須賀市)		石綿
4	海	80	(元)1等海尉	(元)第2術科学学校付	(神奈川県横須賀市)		石綿
5	陸	45	3等陸佐	高射学校	(千葉県千葉市)	千葉県千葉市	脳疾患
6	海	82	(元)1等海曹	(元)横須賀警備隊付	(神奈川県横須賀市)		石綿

## ◆殉職者の状況(年度別)

○平成28年度

No.	機 関	年 齢	階級等	所属部隊		発生地域	原因・理由
1	空	46	2等空佐	飛行点検隊	(埼玉県狭山市)	航空機内	事故
2	空	34	3等空佐	飛行点検隊	(埼玉県狭山市)	航空機内	事故
3	空	52	3等空尉	飛行点検隊	(埼玉県狭山市)	航空機内	事故
4	空	43	准空尉	飛行点検隊	(埼玉県狭山市)	航空機内	事故
5	空	34	1等空曹	飛行点検隊	(埼玉県狭山市)	航空機内	事故
6	空	27	2等空曹	飛行点検隊	(埼玉県狭山市)	航空機内	事故
7	海	72	(元)海士長	(元)大湊基地業務隊補充部付	(青森県むつ市)		石綿
8	海	52	海曹長	佐世保警備隊佐世保陸警隊	(長崎県佐世保市)	長崎県佐世保市	心疾患
9	海	27	3等海曹	海洋観測艦にちなん	(神奈川県横須賀市)	艦船内	その他
10	陸	29	1等陸曹	第8普通科連隊	(鳥取県米子市)	兵庫県伊丹市	脳疾患
11	海	80	(元)海曹長	(元)佐世保基地業務隊補充部付	(長崎県佐世保市)		石綿
12	その他	33	防衛技官	北関東防衛局調達部	(埼玉県さいたま市)	埼玉県さいたま市	心疾患
13	海	82	(元)准海尉	(元)佐世保警備隊付	(長崎県佐世保市)		石綿
14	陸	28	1等陸曹	第20普通科連隊	(山形県東根市)	山形県東根市	その他
15	陸	20	3等陸曹	東部方面後方支援隊	(東京都練馬区)	東京都練馬区	その他

No.	機 関	年 齢	階級等	所 属 部 隊		発 生 地 域	原 因・理 由
16	陸	47	陸曹長	第6高射特科大隊	(福島県郡山市)	福島県郡山市	その他
17	海	23	2等海曹	潜水艦せとしお	(神奈川県横須賀市)	艦船内	事故
18	海	81	(元)海曹長	(元)佐世保基地業務隊補充部付	(長崎県佐世保市)		石綿
19	海	25	3等海曹	掃海艇やくしま	(長崎県佐世保市)	艦船内	その他
20	陸	41	防衛技官	釧路駐屯地業務隊	(北海道釧路町)	北海道釧路市	その他
21	陸	75	(元)2等陸佐	(元)第2師団司令部	(北海道旭川市)		その他

## ◆殉職者の状況(年度別)

○平成29年度

No.	機関	年齢	階級等	所属部隊		発生地域	原因・理由
1	陸	33	防衛技官	伊丹駐屯地業務隊	(兵庫県伊丹市)	兵庫県伊丹市	その他
2	海	78	(元)准海尉	(元)舞鶴基地業務隊補充部付	(京都府舞鶴市)		石綿
3	陸	53	2等陸佐	北部方面航空隊	(北海道札幌市)	航空機内	事故
4	陸	41	1等陸佐	北部方面航空隊	(北海道札幌市)	航空機内	事故
5	陸	42	陸曹長	北部方面航空隊	(北海道札幌市)	航空機内	事故
6	陸	28	1等陸曹	北部方面航空隊	(北海道札幌市)	航空機内	事故
7	陸	35	2等陸曹	第11高射特科中隊 (現:第11高射特科隊)	(北海道札幌市)	北海道札幌市	その他
8	海	49	海将補	自衛艦隊司令部	(神奈川県横須賀市)	自宅	心疾患
9	陸	38	1等陸曹	第73戦車連隊	(北海道恵庭市)	北海道札幌市	事故
10	その他	18	学生 (第1学年)	防衛大学校	(神奈川県横須賀市)	神奈川県横須賀市	その他
11	海	82	(元)2等海曹	(元)横須賀基地業務隊補充部付	(神奈川県横須賀市)		石綿
12	海	36	2等海佐	第25航空隊	(青森県むつ市)	航空機内	事故
13	海	24	2等海尉	第25航空隊	(青森県むつ市)	航空機内	事故
14	海	36	1等海曹	第25航空隊	(青森県むつ市)	航空機内	事故

No.	機 関	年 齢	階級等	所属部隊		発生地域	原因・理由
15	海	79	(元)3等海曹	(元)佐世保基地業務隊補充 部付	(長崎県佐世保市)		石綿
16	空	42	2等空佐	浜松救難隊	(静岡県浜松市)	航空機内	事故
17	空	46	2等空佐	浜松救難隊	(静岡県浜松市)	航空機内	事故
18	空	40	1等空曹	浜松救難隊	(静岡県浜松市)	航空機内	事故
19	空	32	2等空曹	浜松救難隊	(静岡県浜松市)	航空機内	事故
20	空	52	空将補	航空幕僚監部	(東京都新宿区)	アメリカ合衆国	脳疾患
21	陸	23	2等陸曹	第8後方支援連隊	(熊本県熊本市)	熊本県阿蘇市	事故
22	陸	49	3等陸尉	第12ヘリコプター隊本部	(群馬県榛東村)	群馬県	事故
23	陸	43	1等陸佐	西部方面航空隊	(熊本県益城町)	航空機内	事故
24	陸	26	陸曹長	西部方面航空隊	(熊本県益城町)	航空機内	事故
25	海	76	(元)3等海尉	(元)佐世保基地業務隊補充 部付	(長崎県佐世保市)		石綿



## ◆殉職者の状況(年度別)

○平成30年度

No.	機 関	年 齢	階級等	所属部隊		発生地域	原因・理由
1	陸	45	陸曹長	第8後方支援連隊	(熊本県熊本市)	大分県玖珠町	事故
2	空	23	3等空曹	航空救難団救難教育隊	(愛知県小牧市)	愛知県小牧市	事故
3	陸	45	1等陸佐	第3施設団本部	(北海道恵庭市)	自宅	脳疾患
4	空	47	1等空曹	警戒航空隊第2整備群整備隊(現:警戒航空団)	(静岡県浜松市)	静岡県浜松市	心疾患
5	陸	38	1等陸曹	水陸機動団第2水陸機動連隊	(長崎県佐世保市)	フィリピン共和国	事故
6	海	45	1等海曹	護衛艦ゆうだち	(青森県むつ市)	艦船内	脳疾患
7	海	75	(元)3等海尉	(元)第1海上訓練指導隊付 (現:横須賀海上訓練指導隊)	(神奈川県横須賀市)		石綿

## ◆殉職者の状況(年度別)

○平成31年度(令和元年度)

No.	機 関	年 齢	階級等	所属部隊		発生地域	原因・理由
1	空	41	2等空佐	第3航空団	(青森県三沢市)	航空機内	事故
2	海	69	(元)准海尉	(元)横須賀基地業務隊本部 補充部付	(神奈川県横須賀市)		石綿
3	陸	49	陸曹長	第1高射特科群	(北海道千歳市)	北海道恵庭市	事故
4	陸	51	1等陸曹	第39普通科連隊	(青森県弘前市)	青森県弘前市	その他
5	海	79	(元)3等海佐	(元)呉潜水艦基地隊付	(広島県呉市)		石綿
6	海	41	海曹長	第1整備補給隊第11機側 整備隊	(鹿児島県鹿屋市)	鹿児島県鹿屋市	その他
7	海	67	(元)3等海尉	(元)八戸航空基地隊付	(青森県八戸市)		石綿
8	陸	27	2等陸曹	第20普通科連隊	(山形県東根市)	山形県東根市	心疾患
9	陸	57	防衛技官	守山駐屯地業務隊	(愛知県名古屋市)	愛知県名古屋市	その他
10	海	67	(元)海曹長	(元)佐世保基地業務隊補充 部付	(長崎県佐世保市)		石綿
11	その他	64	防衛技官	防衛医科大学校経理部	(埼玉県所沢市)		石綿
12	陸	42	1等陸曹	第28普通科連隊	(北海道函館市)	北海道森町	心疾患
13	海	85	(元)海曹長	(元)横須賀教育隊付	(神奈川県横須賀市)		石綿
14	陸	31	2等陸曹	第25普通科連隊	(北海道遠軽町)	北海道上富良野町	事故
15	海	53	海曹長	大湊弾薬整備補給所	(青森県むつ市)	青森県むつ市	事故

## ◆殉職者の状況(年度別)

○令和2年度

No.	機 関	年 齢	階級等	所属部隊		発生地域	原因・理由
1	海	70	(元)海曹長	(元)横須賀造修補給所付	(神奈川県横須賀市)		石綿

## ◆自衛隊員の自殺者の状況

(R2.12.31現在)

## ○陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、その他事務官等の別

年度 区分	自殺事故発生年度															
	平成22年度 (2010)		平成23年度 (2011)		平成24年度 (2012)		平成25年度 (2013)		平成26年度 (2014)		平成27年度 (2015)		平成28年度 (2016)		平成29年度 (2017)	
陸上自衛官	55 (1)	66.3%	49 (4)	57.0%	52 (2)	62.7%	47 (2)	57.3%	43	62.3%	45 (2)	61.6%	40 (1)	61.5%	61 (1)	67.8%
海上自衛官	10	12.0%	14	16.3%	7	8.4%	16 (1)	19.5%	12	17.4%	11	15.1%	12 (2)	18.5%	11	12.2%
航空自衛官	12	14.5%	15	17.4%	20 (1)	24.1%	13	15.9%	11 (3)	15.9%	9	12.3%	5	7.7%	12 (1)	13.3%
その他事務官等	6 (1)	7.2%	8	9.3%	4	4.8%	6	7.3%	3 (1)	4.3%	8	11.0%	8	12.3%	6	6.7%
合計	83 (2)	100%	86 (4)	100%	83 (3)	100%	82 (3)	100%	69 (4)	100%	73 (2)	100%	65 (3)	100%	90 (2)	100%

年度 区分	自殺事故発生年度							
	平成30年度 (2018)	平成31年度 (令和元年度) (2019)	令和2年度 (2020) (R2.12.31現在:精査中)	合計				
陸上自衛官	35 (1)	56.5%	39 (3)	65.0%	29	59.2%	495 (17)	61.7%
海上自衛官	11 (1)	17.7%	10	16.7%	6	12.2%	120 (4)	15.0%
航空自衛官	11 (1)	17.7%	5	8.3%	9	18.4%	122 (6)	15.2%
その他事務官等	5	8.1%	6	10.0%	5	10.2%	65 (2)	8.1%
合計	62 (3)	100%	60 (3)	100%	49	100%	802 (29)	100%

※1 陸上、海上、航空自衛隊以外の機関等に所属する事務官等の自殺事故が少ないことから、公にすることにより、個人が特定される可能性があるため、自衛官とその他の事務官等として計上しております。

※2 ( )内は、公務災害として認定した隊員の数で、内数

(R2.12.31現在)

## ○年代別

年度		自殺事故発生年度											
区分		平成22年度 (2010)	平成23年度 (2011)	平成24年度 (2012)	平成25年度 (2013)	平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	平成31年度 (令和元年度) (2019)	令和2年度 (2020) (R2.12.31現在) (精査中)	合計
年齢別	10代～20代	20: 24.1%	28: 32.6%	26: 31.3%	26: 31.7%	19: 27.5%	25: 34.2%	24: 36.9%	27: 30.0%	20: 32.3%	23: 38.3%	25: 51.0%	263: 32.8%
	30代	25: 30.1%	22: 25.6%	25: 30.1%	21: 25.6%	18: 26.1%	21: 28.8%	15: 23.1%	20: 22.2%	12: 19.4%	14: 23.3%	11: 22.4%	204: 25.4%
	40代	26: 31.3%	25: 29.1%	21: 25.3%	28: 34.1%	18: 26.1%	19: 26.0%	17: 26.2%	28: 31.1%	17: 27.4%	12: 20.0%	9: 18.4%	220: 27.4%
	50代～	12: 14.5%	11: 12.8%	11: 13.3%	7: 8.5%	14: 20.3%	8: 11.0%	9: 13.8%	15: 16.7%	13: 21.0%	11: 18.3%	4: 8.2%	115: 14.3%
	合計	83: 100%	86: 100%	83: 100%	82: 100%	69: 100%	73: 100%	65: 100%	90: 100%	62: 100%	60: 100%	49: 100%	802: 100%

## ○階級別

年度		自殺事故発生年度											
区分		平成22年度 (2010)	平成23年度 (2011)	平成24年度 (2012)	平成25年度 (2013)	平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	平成31年度 (令和元年度) (2019)	令和2年度 (2020) (R2.12.31現在) (精査中)	合計
階級別	将官	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	1: 1.4%	0: 0.0%	0: 0.0%	0: 0.0%	1: 1.6%	0: 0.0%	0: 0.0%	2: 0.2%
	佐官	5: 6.0%	8: 9.3%	1: 1.2%	4: 4.9%	9: 13.0%	3: 4.1%	1: 1.5%	5: 5.6%	2: 3.2%	2: 3.3%	0: 0.0%	40: 5.0%
	尉官	14: 16.9%	13: 15.1%	10: 12.0%	13: 15.9%	8: 11.6%	10: 13.7%	6: 9.2%	8: 8.9%	9: 14.5%	6: 10.0%	6: 12.2%	103: 12.8%
	准曹	45: 54.2%	41: 47.7%	49: 59.0%	45: 54.9%	38: 55.1%	41: 56.2%	32: 49.2%	59: 65.6%	37: 59.7%	32: 53.3%	22: 44.9%	441: 55.0%
	士	13: 15.7%	16: 18.6%	19: 22.9%	14: 17.1%	10: 14.5%	11: 15.1%	18: 27.7%	12: 13.3%	8: 12.9%	14: 23.3%	16: 32.7%	151: 18.8%
	その他事務官等	6: 7.2%	8: 9.3%	4: 4.8%	6: 7.3%	3: 4.3%	8: 11.0%	8: 12.3%	6: 6.7%	5: 8.1%	6: 10.0%	5: 10.2%	65: 8.1%
	合計	83: 100%	86: 100%	83: 100%	82: 100%	69: 100%	73: 100%	65: 100%	90: 100%	62: 100%	60: 100%	49: 100%	802: 100%

(R2.12.31現在)

○ 原因・理由別

年度		自殺事故発生年度											
		平成22年度 (2010)	平成23年度 (2011)	平成24年度 (2012)	平成25年度 (2013)	平成26年度 (2014)	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	平成31年度 (令和元年度) (2019)	令和2年度 (2020)	合計
年齢別	病苦	9: 10.8%	2: 2.3%	4: 4.8%	1: 1.2%	0: 0.0%	0: 0.0%	1: 1.5%	/				17: 3.1%
	借財	6: 7.2%	3: 3.5%	8: 9.6%	5: 6.1%	4: 5.8%	3: 4.1%	2: 3.1%					31: 5.7%
	家庭	12: 14.5%	17: 19.8%	14: 16.9%	5: 6.1%	3: 4.3%	4: 5.5%	8: 12.3%					63: 11.6%
	職務	9: 10.8%	17: 19.8%	5: 6.0%	8: 9.8%	3: 4.3%	6: 8.2%	5: 7.7%					53: 9.8%
	精神疾患等	14: 16.9%	16: 18.6%	32: 38.6%	36: 43.9%	22: 31.9%	13: 17.8%	17: 26.2%					150: 27.7%
	その他	8: 9.6%	12: 14.0%	8: 9.6%	7: 8.5%	5: 7.2%	6: 8.2%	8: 12.3%					54: 10.0%
	不明	25: 30.1%	19: 22.1%	12: 14.5%	20: 24.4%	32: 46.4%	41: 56.2%	24: 36.9%					173: 32.0%
	合計	83: 100%	86: 100%	83: 100%	82: 100%	69: 100%	73: 100%	65: 100%	541: 100%				
	勤務問題	/							53: 36.8%	43: 42.2%	33: 30.8%	確認中	129: 36.5%
	家庭問題								30: 20.8%	18: 17.6%	18: 16.8%		66: 18.7%
	健康問題								30: 20.8%	17: 16.7%	26: 24.3%		73: 20.7%
	経済・生活問題								10: 6.9%	2: 2.0%	13: 12.1%		25: 7.1%
	男女問題								4: 2.8%	1: 1.0%	3: 2.8%		8: 2.3%
	その他								9: 6.3%	8: 7.8%	9: 8.4%		26: 7.4%
不明	8: 5.6%								13: 12.7%	5: 4.7%	26: 7.4%		
合計	144: 100%	102: 100%	107: 100%	353: 100%									

※ 自殺の多くは多様かつ複合的な原因及び背景を有しており、様々な要因が連鎖する中で起きています。

※ 平成29年度から、新たな自殺要因の計上要領を採用し、自殺の要因を自殺者一人につき最大3つまで選択しているため、自殺者と自殺要因の数が一致しません。  
(平成29年度は92人、平成30年度は62人、令和元年度は60人)

【参考】

令和元(2019)年度の自殺事故の状況について、調査したところ、勤務環境・生活環境に変化のあった隊員の自殺事故が多いことが確認されました。

勤務環境の変化			具体例
有	25	42%	○入隊・入校 ○人事異動・臨時勤務など
無	33	55%	
不明	2	3%	

家庭問題			具体例
有	16	27%	○単身赴任 ○妻との離婚問題 ○妻との関係(暴力、金銭問題)など ○両親、子供との関係(不仲・介護)など
無	36	60%	
不明	8	13%	

生活環境の変化			具体例
有	48	80%	○入院・通院・事故 ○入隊・入校・臨時勤務・異動 ○自宅購入・転居 ○別居・離婚
無	12	20%	
不明	0	—	

借財			具体例
有	12	20%	○住宅ローン ○ギャンブルによる借財 ○借財240万円
無	43	72%	
不明	5	8%	